

履修登録について ～よくある質問～

履修登録について、よくある質問を下記にまとめました。困ったこと・分からないことがあれば、一度下記をご確認ください。

下記以外の質問があれば、教務課へお問合せください。

また、感染症対策として窓口での混雑を避けるため、電話（教務課 098-946-1235）・メール（kyomu@ocjc.ac.jp）で対応しています。

学生のみなさんと、本学に関わる方の健康と安心のため、ご協力・ご理解をよろしくお願いいたします。

全 学 生 対 象

Q. Active Academy の「履修登録」で、希望する講義の曜日・時限をクリックしても該当する講義名が出てこないのは？

A-1) すでに定員が満員です。定員が満員の講義については、講義名が表示されません。

他の授業を登録するか、**どうしてもその授業を取らなければいけない場合***は教務課へご連絡ください。

（*教職科目とかぶっている場合や、卒業に関係する場合）

A-2) 履修済み科目についても表示されません。一度成績を確認しましょう。※成績確認方法：Active Academy➡修学ポートフォリオ➡成績

Q. 科目を登録した後、追加で講義を登録したい・登録した科目を削除したい場合は？

A) 登録調整期間【4/4（月）～4/9（土）】であれば、Active Academy で学生自身が登録科目の追加・削除ができます。

登録調整期間を過ぎてからの科目追加・削除はできません。

自分自身で追加と登録・削除をしてください。エラー等が発生し、できない場合は教務課までお願いします。

※科目追加の方法：科目登録した画面で、希望の曜日時限をクリックし登録

※科目削除の方法：科目登録した画面で、科目名の左上の☒を外し、登録確定まで済みます。

翌日、修学ポートフォリオの履修情報より科目名が消えていたら、取り消し完了です。

Q. 登録しようとしたらエラーが出る場合は？

A) よくあるエラーは下記の通りです。

- 履修単位上限エラー 【GPA より、履修単位上限が設けられています。履修授業・単位数を見直してください】
- 定員エラー 【定員が満員の講義を選択しています。他の授業を選択してください】
- 科目に関係のないエラー 【そのまま、履修登録バナーを押して、登録確定してください】

※上記以外のエラーが出た場合は、教務課までお問合せください。

Q. どの授業を取ればよいか分からない。

A) 入学時に配布された「学生便覧 (Student Handbook)」に卒業 (資格・免許) に必要な科目・単位数が掲載されています。
また、Active Academy より閲覧できる成績表にも【卒業要件単位数 (卒業に必要な科目・単位数)】と、【現在までに履修した単位数】が記載されています。それらを各自で確認し、履修登録してください。履修登録は自己責任です。しっかり確認して不足がないように注意してください。履修登録に不安や疑問がある学生は、事前に教務課までご連絡下さい。

※「学生便覧 (Student Handbook)」は、教務課で再発行 (300 円) しています。卒業に必要な単位数・科目や、各種情報が記載されています。

(ただし、数に限りがあります。また、入学年度によって内容が変わりますので必ずご自身の入学年度の便覧で確認してください。)

英語コミュニケーション学科

Q. 「自由科目」とはなにか？

- A) 2021年度以前入学生 : リベラルアーツ (大学共通科目)・学科選択科目の余剰分の単位が、「自由科目」
2022年度以前入学生 : 大学共通科目・学科英語専門科目・学科応用科目の余剰分の単位が、「自由科目」となります。
まずは、「自由科目」の必要単位数を各自で確認してください。(Active Academy や学生便覧にて)
卒業までに「自由科目」へまわせるよう、上記科目を自由科目必要単位数分多く履修し、単位修得してください。

Q. 教務課で登録している講義はどんな科目か？

- A) 1年生～3年生(前期)までは、English Communication (Discussion & Debate I・Public Speaking I) 英文法・英作文 (English Composition) 英語講読演習を教務課で固定登録しています。
また、フレッシュマン・セミナー (1年次)、基礎ゼミナール (2年生)、卒業基礎研究 (3年生)、卒業研究 (4年生) は、教務課で登録しています。自分でクラス・レベル変更はしないでください。休学明けの復学生は各自で登録が必要です。教務課までお問い合わせください。

Q. English communication / 英文法・英作文 / 英語講読演習のレベルを変えたい場合は？

- A) レベルを変更したい場合は、下記の手順で手続きしてください。自分でレベル変更はできませんので、ご注意ください。
(学生手順) ①教務課へ連絡 → ②教務課よりレベル変更希望書の URL を受け取る → ③オンラインで申請
④教員より変更可否の連絡 → ⑤変更可能な場合、教務課にてクラス変更
※初回講義後にレベル変更をした場合は、変更前クラスでの出欠を、変更後クラスの講師へ伝え、出欠入力してもらってください。

Q. 履修上限単位数を超えて登録したい場合

A) GPAによって、履修登録できる上限単位数が決まっています。(詳細は履修ガイドで確認してください) 卒業年次で上限単位数を超えて履修登録しなければ卒業に影響がある学生は、教務課へ相談してください。その後学科長との面談が必要です。

Q. 教職の科目を取ると、履修単位上限単位数を超えてしまう場合

A) 教職の専門科目は、履修単位上限単位数に含まれません。

Q. 上位レベルの講義を履修済みだが、その下のレベルの科目をとれるか？

A) 学科選択必修科目 (English Communication、英文法・英作文、英語講読演習、Advanced Communication、Advanced Reading など) I・II・III・・・などレベルがある科目について、上位レベルの単位を修得している場合は、下のレベルの講義を履修することはできません。ただし、不可科目で再履修の科目は、再度同じ科目を履修することができます。

※「同時通訳 I・II」と「同時通訳実践演習 I・II」はどちらからの履修でも可能です。

例) 英語講読演習 II (1 年前期)・英語講読演習 III (1 年後期) に履修済みの学生が、2 年前期で英語講読演習 I を履修することはできない。(×)

Q. 海外研修に行きたい場合、どの講義を取ればいいか？

A) ①海外ボランティア実習 (フィリピン研修) ⇒ (前期) 海外ボランティア演習 (事前事後研修)

②Oxford 研修 ⇒ (前期) British Cultural Studies

③台湾研修 ⇒ (前期) 多文化共生 (短大科目特別聴講) を実習前に必ず履修してください。

※コロナウィルス感染症の影響で、海外研修については予定が変更になる可能性もあります。

英 語 科

Q. Oral English / Composition & Listening / Reading & Grammar のレベルを変えたい

A) レベルを変更したい場合は、必ず学科の担当教員との面談が必要です。

下記の手順で手続きしてください。自分でレベル変更はできませんので、ご注意ください。

【担当教員】

Oral English : 柳田先生もしくは Michael Bradley 先生へアポを取り面談

Composition & Listening、Reading & Grammar : 浜川先生へアポを取り面談

※初回講義後にレベル変更をした場合は、変更前クラスでの出欠を、変更後クラスの講師へ伝え、出欠入力してもらってください。

Q. 「(春期集中講義) エアラインサービス」や、「(夏期集中) 航空ビジネス入門」を登録したい

A) Active Academy の「履修登録」から自分で登録できます。履修登録画面の下段「集中」とある枠から登録してください。

※3月卒業予定者は、「(春期集中講義) エアラインサービス」、9月卒業予定者は「(夏期集中) 航空ビジネス入門」は、卒業単位認定に間にあいません。単位として考えている場合は、他科目を登録してください。

※登録調整期間以降は、取り消しできません。よく考えて履修登録してください。

※「(春期集中講義) エアラインサービス」は、テキスト料と、G 検定受験料として、約 6,000 円かかります。

Q. (2年生) 1年生の時に、「不可」をとった科目を再履修したい場合は？

A) 1年生の時、必修科目が不可だった場合は再履修が必要です。必ず登録して下さい。不明な点がある場合、教務課までお問合せください。

保育科

Q. 「不可」を取った科目について

A) 教務課までお越しくください。保育科の場合、固定クラスでの講義受講ですが、再履修科目がある場合は時間割が変更になる可能性があります。まずは、教務課へご連絡下さい。

Q. (2年生) 固定クラスの授業以外に、自分で履修登録が必要な科目があるか？

A) 2年生の前期・後期のどちらかで、教養教育科目「一般科目」より、2単位(1科目)の履修が必要です。時間割を確認し、自分で履修登録してください。

Q. (全学年) 選択科目について

A) 下記の科目は選択科目です。興味・関心があれば積極的に履修してみてください。

・海外幼児教育研究(後期) ・児童文化財研究(前期・後期) ・総合表現(後期) ・手話(前期)